

報告事項ウ

「未来を拓くスクラム教育」推進事業について

「未来を拓くスクラム教育」推進事業について、別紙のとおり報告します。

平成23年4月14日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

「未来を拓くスクラム教育」推進事業について

平成23年4月14日
小 中 学 校 課
高 等 学 校 課

1 目的

本県教育の重点課題である「学力向上の推進」のため、タワー（先進地域）となる市町村（中学校区）を指定して、校種の枠を超えた一貫性のある教育による先進的な取組を進める。

詳細は資料1参照

2 タワー地域

〔指定期間〕

平成23年度から平成25年度までの3年間

〔指定地域〕

県内6地域

- ・岩美町（岩美中学校区）
- ・八頭町（中央中学校区）
- ・倉吉市（東中学校区）
- ・境港市（第一中学校区）
- ・伯耆町（岸本中学校区）
- ・日南町（日南中学校区）

詳細は資料2参照

3 主な事業予定

- ・連絡協議会の設置・開催

〔メンバー〕タワー地域の学校・市町教育委員会、県教育委員会の代表

〔回数〕 年2回

- ・フォーラムの開催

〔内容〕タワー地域、県外先進地域の取組紹介 等

〔参加〕県内学校（園）関係者、一般県民 等

学びと指導の鳥取方式

校種間連携による一貫性のある教育の実現

チームでのカリキュラム開発

一貫性・系統性のあるカリキュラムを校種を超えたチームで開発

接続・スタートカリキュラム (幼保・小1, 小6・中1)

外国語教育 (外国語活動・英語) 等

大学の専門性による開発サポート

スクラム授業の実施

校種相互の特色を生かした授業を実施

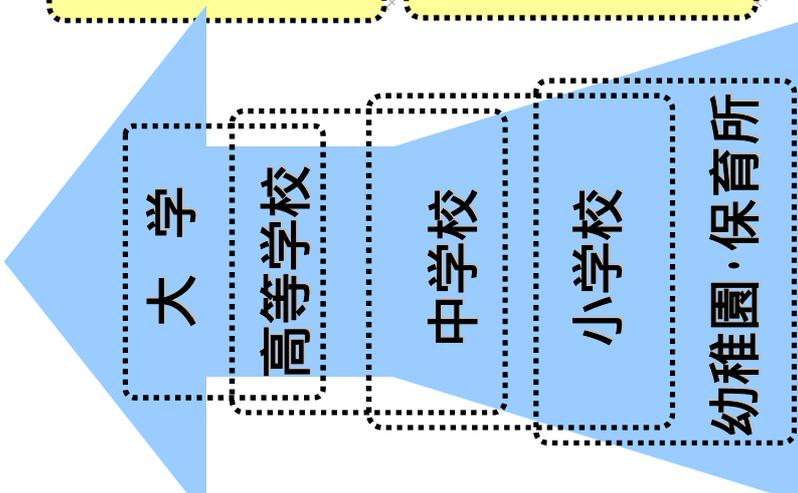
教科の専門性を生かした授業 (大 高 中 小への乗入、IT)

保育・授業体験 (小⇄ 幼保)

エキスパート教員の活用 (兼務)

一部教科担任制の導入 (小6)

学校支援ボランティアの活用



- ・学力向上
- ・体力向上
- ・不登校の未然防止など

学習カウンセリング

継続した学習状況の把握と確かな学力の定着に向けた補充・発展学習

思考力や学び方を問う学力調査

学習カウンセリングと補習システム

大学の専門性を活用したサポート 等

学校生活のサポート

校種を超えた学校生活サポート体制の構築

校種を超えたサポートチーム (養護教諭、スクールカウンセラー等)

地域・家庭と連携したサポート 等



鳥取県

【一貫教育モデル地域】

- ・教員の重点配置
- ・地域ボランティアによる支援

「未来を拓くスクラム教育」推進事業《タワー地域の取組》

番号	市町村	中学校区	連携する学校等	加配	エキスパート教員	主な取組
1	岩美町	岩美中	浦富保、大岩保、みなみ保 岩美北小、岩美西小、岩美南小 岩美中 岩美高	岩美西小 岩美中	岩美中(数学)	スタート・接続カリキュラム(算数・数学 / 小中) 町版学力検定(国・数) 相互乗入授業(保小 / 小中 / 中高) 町民参加のシンポジウム
2	八頭町	中央中	保(計6) 郡家東小、郡家西小 中央中、船岡中、八東中 八頭高 鳥取大、鳥取環境大	中央中 八頭高	八頭高(数学)	アプローチ・スタートカリキュラム(中高) 学力調査、QU調査等の活用 相互乗入授業 合同授業研究会・研修会(中高)
3	倉吉市	東中	東中 倉吉東高	東中 倉吉東高	倉吉東高 (英語・地歴・理科)	一貫・連携カリキュラム(英・数 / 中高) 学習・生活カウンセリング、チュータリング 学習診断テストの実施・分析 相互乗入授業の実施・拡大 学習交流(中3・高1)
4	境港市	第一中	上道保、梅檀保、聖心幼、美哉幼 上道小、境小 第一中 境高 島根大、鳥取大、鳥取環境大	境小 第一中 境高	境小(総合) 境高(数学)	乗入授業(高 中、中 小)一部教科担任制(小) 個別のつまずきに応じた補充指導、中学校IT 異年齢集団による交流活動 接続カリキュラム(幼保小 / 小中) 出前講座、研究室訪問等(高大)
5	伯耆町	岸本中	こしき保、ふたば保、あさひ保 岸本小、八郷小 岸本中	岸本小 岸本中	岸本中(社会)	接続(保小)・一貫カリキュラム(数 / 小中) 乗入授業、つまずきのフォローアップ(小中) 共通の自己評価表の作成(小中) 共通のネットワーク 職員室 構築
6	日南町	日南中	にちなん保 日南小 日南中 鳥取大等	日南中	日南小(学級経営)	一貫カリキュラムの開発(国・数・英 / 小中) アプローチ・スタートカリキュラムの作成(保小) 相互乗入授業、異学年交流活動 研修(教育方法 / 教材開発) 大のサポート